

天白まちづくり会報 (第4号)

天白まちづくり協議会 (天白公民館内)

平成22年5月1日発行

まちづくり協議会も2年目となりました。

年度当初の「挨拶」

天白まちづくり協議会

会長 伊藤 末治

天白地区の皆さんこんにちは。
天白まちづくり会報第四号を発行するにあたり、所信の一端を述べご挨拶いたします。

天白地区内に住んでおられる皆さん同士の連帯感をより強いものにしながら、「互助・共生の郷」づくりを目指して昨年の三月十四日に天白まちづくり協議会を設立したのでした。

それから一年があつという間に経過し、二年目を迎えたわけですが、ここで設立当初の初心にかえて昨年度の活動を反省しつつ皆さんと共に会の目的を今一度確認しあいながら、今年もしっかり頑張っていきたいと考えています。

このような意味において本年、特に配慮していきたいこととして天白地区にあるいろいろな資源や文化遺産、自然遺産を大切にしながら現在の社会情勢にマッチした新しい地区の形成、及び維持に努

めるとともに、この頃特にやかましく言われています防災の問題については、本年度の事業計画として防災訓練や救命講習会等を開催する予定をしています。日時が決まり次第、チラシなどでお知らせいたしますので皆さん是非ご参加下さい。そしてお互い安心し、しかも安全に生活できる環境を保持しながら、隣近所の方々が日々の生活において協力し、助けあい、ともに天白地区に住んでよかったなあ！と、誰もが笑顔で実感できる「まちづくり」に、これからもしっかり頑張ろうではありませんか。



二十二年度まちづくり協議会総会が開催されました

天白まちづくり協議会の平成二十二年度総会が、4月3日

(土)ハートフルみくもスポーツ文化センターで開催されました。

伊藤末治会長が協議会設立後1年間の活動状況、今後の課題についての挨拶に続いて、来賓として出席いただいた堀隆行三雲振興局長、浜口高志市議会議員、松阪市市政戦略部コミュニティ推進担当参事の野田守氏よりそれぞれご祝辞をいただきました。

総会は地区内十一自治会より選出された代議員五十三名から出席代議員四十七名(内委任状十六名)で、総会は成立し、議長に曾原浜区自治会の岡本儀夫氏を選出し、議事が進められました。

議事は、第1号議案平成二十一年度事業報告について。第2号議案平成二十一年度収支決算について。第3号議案平成二十二年事業計画(案)について。



総会の様子



挨拶する伊藤協議会会長

第4号議案平成二十二年度予算（案）についての四件でありましたが、いずれの議案も賛成多数で成立いたしました。
第3号議案の平成二十二年度事業計画は以下のとおりですが、詳細については「天白だより」などでお知らせいたしますので、たくさんの方の参加をお願いいたします。

事業計画

本年度事業計画

総務部	○地域全体の行事・事業の調整	天白まちづくり会報（3回発行）
	○他地区まちづくり協議会との交流	天白だより（3回発行）
	○他部会との連絡調整	地域計画作成
	○行政との協働事業	
	○広報活動	
.....		
健康福祉部	○地域住民の安全で安心な生活の確保と維持	たてぼし
	○事業については諸団体との協働推進	福祉についての講習会開催
	○子育て支援等への協力	碧川周辺ウォーキング
	○高齢者福祉の充実	
.....		
環境美化部	○明るく住みよいまちづくりを目指した環境の整備—行政との協力	空き缶・ゴミの清掃作業（沿道・通学路・用水路等）
	○クリーン活動の啓発と推進	ポイ捨て禁止運動（看板等設置）
	○地域全体の花と緑化活動の推進	カーブミラー清掃
.....		
防犯防災部	○地域の防災、防犯、交通安全の安全対策	普通救命講習会の開催
	○行事等会場の安全対策	火災報知器の豆知識（広報）
	○防火・防災計画	防災訓練
	○互助体制づくりの計画	
.....		
教育文化部	○青少年の健全育成に向けた啓発活動	たこ作り
	○他団体の文化的事業との連携と協力	たこあげ大会
	○公民館事業への支援協力	ひなまつり
.....		
全体事業	○各部が協働して取り組む事業	夏まつり・地区文化祭（農海産物を含む）

「大空へ・・・」

楽しい「づくり」

12月20日(日) 天白公民館と教育文化部(西村武史部長)が共催して「たこづくり」が公民館でありました。

今回は、坂井田 茂さんを講師に迎え、世界中のいろいろな「たこ」の紹介や「たこ」の歴史についてをお話いただきました。

その後、実際に「たこ」づくりを指導していただき、みんな立派な世界に一つだけの「たこ」を作りました。



上手に飛ぶかなあ～？

ふれあいたこあげ大会

1月10日(日) 年末に作成した「たこ」を持ち寄り、ハートフルみくも駐車場で公民館・教育文化部共催でのたこあげ大会を開催しました。

当日は快晴で理想的な西風が吹く中、こども部門43名、おとな部門7チームが参加。会場では、温かい豚汁が振舞われ、応援・見学者合わせて100名余りが歓声を上げていました。厳しい審査の結果、表彰者は、次の方々でした。

「子ども部門」

○飛翔賞

大久保 昂くん

井田 芽衣さん

上東 梨乃さん

○デザイン賞

宮階 悠人くん

中井 琴美さん

藤平 拓実くん

○頑張ったで賞

西井 遼さん

近藤 美友さん

大西 沙耶さん

○特別賞

西村 さやかさん

伊藤 優汰くん

奥川 紗希さん

「おとな部門」

○最優秀賞

曾友会(野田一男会長)

○優秀賞

女子ソフトボールチーム

みなさん、おめでとう

ございました。

カープミラーが

綺麗になりました

二十一年度事業計画で最終の事業となりましたカープミラーの清掃を、環境美化部(森嶋宏部長)の担当事業として3月28日(日)に実施いたしました。

各自治会毎に役員さんを主に多くの方々の協力で、天白地区内全てのカープミラーが見違えるように綺麗になりました。

参加していただいた皆様方に心より感謝いたします。



たこあげ大会の様子(ハートフルみくも)



事故がなくなるように、想いをこめて・・・

このコーナーでは、天白地区に伝わる伝統芸能・行事を紹介していきます。

第1回目は、「曾原の獅子舞」をご紹介します。

「曾原の獅子舞」

旧曾原地区（里中・浜・田面・柑子垣内）では、地元に残った村の若い衆が「誠友会」という会を組織し、元旦の朝、天白神社で獅子舞を奉納した後、里中・浜・曾原茶屋・曾原新田迄含めた家々を訪れ、正月を祝い、一年の安泰を願って「門舞し」を行い、全戸を回り終えるのに3日間を要しました。

当時は「門舞し」以外にも新築の家や、厄年の家などでは別の舞を行い、お酒などが振舞われていました。戦争中の一時期には中断を余儀なくされた時もありましたが、戦後まもなく復活・継承されました。が、昭和30年代後半から「誠友会」へ入会する人が無くなったことから、「誠友会」が消滅し、獅子舞が出来なくなりました。

昭和50年代になり、元「誠友会」



天白神社境内での獅子舞

のメンバーを中心に復活し、全戸を回る「門舞し」はせず、天白神社の奉納を主に活動していました。

獅子舞の演目には「門舞し」の他、四方の舞・跳びの舞・太刀の舞・らの舞・笹の舞など多岐に亘り、獅子や天狗の複雑な舞・微妙な所作、笛・太鼓の技を伝承している元「誠友会」のメンバーの高齢化もあり、平成18年・19年と中断されましたが、伝統芸能の保存に危機感を抱いた地区内の40〜50代の人達が立ち上がり、「曾原獅子舞保存会」を再結成し、

前会長の橋本清次氏（現会長は坂下昭男氏）のご尽力により元「誠友会」のメンバーの指導を受けて、曾原公会所で定期的に練習を行っています。

本年も元旦の9時より天白神社の境内に於いて奉納の舞を行い、その後、新生児のお祝いや厄年の方々からの要請により舞を行っています。

曾原の獅子舞は江戸後期より始まったと伝えられ、伊勢大神楽の東阿倉川系といわれています。



天狗と獅子の息のあった囃

※次回、曾原の「囃鼓（かんこ）踊り」をご紹介します。

【編集後記】

昨年「天白まちづくり協議会」が設立されたかと思っている間に、一年が経過してしまいました。私たち編集委員も勿論ピカピカの1年生。学生時代に学級新聞を作った程度の経験しかなく（それもガリ版刷り）本当に「会報」や「たより」が作成できるのかと少々不安でしたが、それなりに形になってきたかなと、自己満足に浸っているこの頃です。

4月からは2年生。皆様方に「発行が待ち遠しい」とのお声がかかる事を目指し、これからも頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。

編集委員一同